

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37977
事業名	時計台保存修理費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	文化・文化財を適切に保存し様々な形で生かすとともに、札幌市へ					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本市が所有する重要文化財旧札幌農学校演武場(以下「時計台」という。)は、文化財保護法に基づき適切に管理・公開を行う必要があるほか、「札幌市文化財保存活用地域計画」(令和2年2月策定)第6章「文化財の保存・活用に関する措置」のうち、「文化財施設の効率的な維持・保全」事業の対象に位置付け、文化財の価値を保ち、歴史文化の魅力を次の世代へ引き継ぐこととしている。 時計台では、大規模な保存修理工事を平成7～10年に、外部改修を平成30年に実施したが、それらの改修から年数が経つことから、貴重な文化財として将来に継承していくとともに、観光施設としての魅力向上を図るため、計画的な改修に向けて取り組んでいる。
	事業内容(何を実施し)	時計台保存修理事業では、①平成30年に実施できなかった建物内部の保存修理、②前回改修後に劣化が進んだ外部の修繕、③令和元年に相次いだ文化財の火災を受けた防火対策の追加、④時計機械のオーバーホール、⑤冷房設備導入といった検討に取り組むこととしている。 ＜令和5年度に実際に取り組んだ内容と結果＞ ①防火対策概略検討業務 文化庁が示す防災施設整備に関する指針や防火対策ガイドラインを踏まえて、時計台が抱える災害リスクの把握及び現在の管理体制に応じた防火・防災設備についての検討を行った。 ②冷房機器導入検討事前調査 時計台に冷房機器を設置する上での使用機器、配置等の基礎検討を行った。 ③外壁劣化目視調査 外部からの目視調査により、外壁塗装の劣化状況及び下見板の破損状況の把握を行った。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌のシンボルである時計台について、適切な保存修理により文化財としての価値を維持しつつ、防火対策や冷房整備等の施設の機能向上を進めることで、より一層の魅力アップを図りたい。
	他都市の状況	全国各地に所在する多くの文化財所有者が、文化財を保存・活用する取組を行っている。 重要文化財菅田庵及び向月亭(島根県):令和元年度完了 清水寺観音堂(八戸):令和3年度完了
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	7,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度決算額	2,728 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和6年度予算額	19,400 千円	うち特定財源	4,000 千円	正規職員業務量	1.05 人工

指標	アウトプット活動指標1	時計台保存修理に関する検討				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
			防火対策概略検討	防火対策概略検討実施	保存活用計画策定	保存活用計画策定	基本検討	
	↓							
	アウトカム成果指標1	時計台保存修理に関する検討				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
			防火対策概略検討	防火対策概略検討実施	保存活用計画策定	保存活用計画策定	基本検討	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	計画どおりに時計台の防火対策に関する事前検討を行うことができた。						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	時計台の保存修理工事の実施に向けて、引き続き着実に計画検討を進めていく。